



警告

運転手が走行中にナビなどの画面を注視(2秒以上見続ける)することは、道路交通法により禁止されています。
本製品を使用中に発生した事故、違法行為、車両の故障や破損等の責任を 当社は一切負いません。

<走行中 ナビの操作が可能な状態の間は>

- ・ 車速パルス/GPS信号がナビに入力されません。
- ・ 自車位置やメンテナンス情報等に誤差が生じます。 ルートの音声案内も、この間されません。
- ・ ナビブレーキアシスト機能が使用できません。

ナビ操作完了後は <<解除>>操作をしてください。

G-BOOK、G-Linkの位置情報を使用するサービスを受けるときは、<<解除>>し、ナビ画面上の自車位置が正しいことを確認してください。

ノーマル状態に戻してから、自車位置が正確に表示されるまでには、ある程度の時間が掛かります。

	走行中の動作	
	TV/DVD/ VTR *純正機能による	ナビ操作
ノーマル (解除)	視聴可能	操作不可 (ノーマル)
ナビ操作可能時		操作可能

<取付け>

- ・ 必要があれば ナビの“メニュー”→“ユーザーカスタマイズ”で、現在のナビ設定を 記憶させておきます。
- ・ イグニッションOFFから 10分程度 経過してから、バッテリーのマイナス端子を外します。

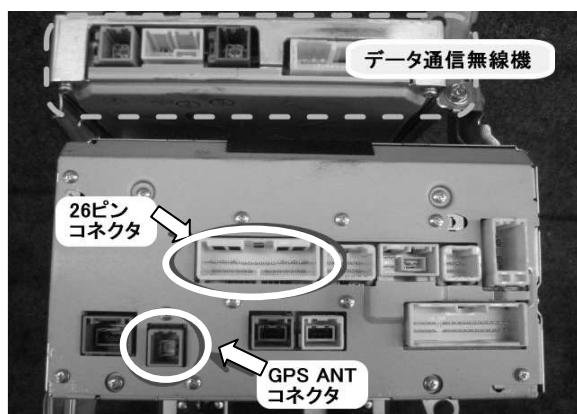
***モニターとデッキが分離している車種では、取付けはデッキ (ナビはデッキに内蔵されています) 背面になります。レクサスCT,HS,RX,200系クラウン、SAIは、デッキ背面に 下の写真のコネクタがあります。**

写真の**2箇所**のコネクタに接続します。

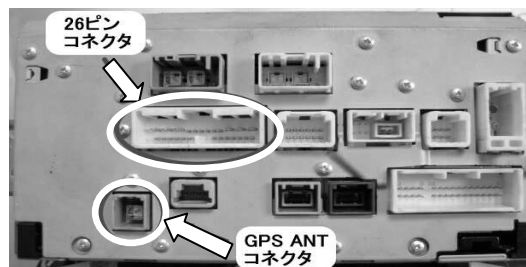
オス-メス コネクタになっていますので、ナビと車両ハーネス間に 本機を割り込ませてください。

※CT200h、HS250hでは、デッキ上のデータ通信無線機にも、同形状のコネクタがあります。接続は、写真の位置の デッキ側GPS ANTコネクタへしてください。

***写真は、HS250h**



***写真は、130系マークX (12sp) MOPナビ**



※コネクタ脱着時は、真っ直ぐに引き抜き/挿入してください。挿入時に違和感がある場合は、ピン曲がりなどが無いか確認してください。無理に押し込むと、破損する恐れがあります。

※デッキ裏の機器、配線への干渉に注意して、デッキを元通りに取付けてください。

※取り付け完了後、パワーウィンドウ、バックガイドモニター、シートメモリー等を再設定してください。

<操作方法>




オンフック（電話を切る）ボタン
※通常はこちらで操作



オフフック（電話を掛ける）ボタン
※ハンズフリー通話中はこちらで操作

2つの動作モードがあります。

■3分 タイマーモード

ステアリングスイッチ オンフック  ボタンをダブルクリック（短押し+短押し）

→“ピッ”と短ビープ音が1回なり、ナビ操作が可能になります。

下の解除操作をするか、そのまま 3分経過すると “ピー”と長ビープ音になり、ノーマル状態になります。

■マニュアルモード

ステアリングスイッチ オンフック  ボタンをダブルクリック（短押し+**長押し**）

→“ピッ”“ピッ”と短ビープ音が 2回なり、ナビ操作が可能になります。

下の解除操作をするか、Accオフするまで、ナビ操作可能な状態を続けます。

※長押し操作は → “ピッ”“ピッ”と短ビープ音が 2回なるまで（1秒）でO.Kです。

2秒以上長押しを続けると、純正ハンズフリーの着信拒否のビープ音になりますが、本機の動作に関係ありません。

<<解除>> 『3分タイマーモード』  『マニュアルモード』中
ステアリングスイッチ オンフック  ボタンをダブルクリック（短押し+短押し）

→ “ピー”と長ビープ音になり、ノーマル状態になります。

ハンズフリー通話時は、オフフック  ボタンで操作します。

ビープ音設定について

ビープ音出力のオン/オフは、純正ナビシステムの“情報・Gボタン”を押し、“BEEP消”アイコンで切替えます。
ビープ音量は、ナビのボタン操作時に出る“ピッ”音と同じです。

レクサス車の一部では、写真の純正ナビの設定項目に連動し、出力する/しない を変更できます。
ナビゲーションシステム取扱説明書参照



決定音通知

3分タイマーモード、マニュアルモード切替時のビープ音を出力する/しない

選択音通知

<<解除>>時のビープ音を出力する/しない